

まえがき

砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業といった土砂災害対策事業は、地域の自然特性や社会条件等に応じて多様な工法・手法によって実施されることが望ましい。実際に、地域性の溢れる、また、新工法を取り入れた事業など実施されているが、それゆえに、それらの工法・手法やその効果を適切に評価することが難しい。ある程度確立し、他の地域へ展開可能な工法・手法とするためには、全国で実施されている事業の実績や新たな取り組み等を把握した上で現場のニーズに応じた研究を実施し、ひいては技術指針や手引きとして取りまとめて現場へ還元することが重要である。このような背景から、砂防事業の現場のニーズを把握することを目的として、平成16年10月に開催された「第17回砂防研究報告会」の概要および国土交通省の砂防事業担当事務所、地方自治体の砂防関係部署等が平成15年度に実施した調査の概要をとりまとめた。

本資料の「平成15年度に実施された砂防調査の概要」は、国土交通省の担当事務所、地方自治体等の砂防事業担当者に作成のご協力を頂いた。関係者諸氏に御礼申し上げます。